

京都銀行ES

1. 研究課題を記入してください

トポロジカル絶縁体という特殊な絶縁体の研究を行っています。

2. 担当教員名

ロバート・ピータース

3. サークルの団体名

京大チェスサークル

4. 団体内での役職

会長(2年前まで)

5. 志望業界

金融業界

6. 志望動機を記入してください(400文字)

私の就活の軸に1番合う地方銀行だと考え、貴行を志望します。私の就活の軸は、「人の意思決定を支援しながら自分も成長できる」職を選ぶことです。この軸に合う業界として、人の意思決定に不可欠な「お金」を扱う金融業界を選び、中でも多様な業務に携わる中で自分も成長できる銀行業界を選びました。また、私は生まれ育った関西に貢献したいと考えていたので、地方銀行に興味を持ちました。特に、強固な財務基盤を持ち、豊富なソリューションを持つ貴行に惹かれました。強固な財務基盤を持つことで、変革を迫られる銀行業界の中でも新たな事業に投資できるので、結果的に様々な人を支援しながら地域の振興に貢献できると思います。また、銀信証のワンストップサービスを提供出来ることで、お客様の様々なニーズに応えることができ、幅広い業務を学ぶ中で自分も成長できると思います。このように、貴行において自分のやりたいことが実現できると考えました。(398文字)

7. 学チ力(400文字)

共同実験者2人と半年間行った卒業研究に力を入れました。研究テーマは「粘着面同士を貼り合わせた2枚のガムテープを剥がしたときに出る光」でした。簡単で意外な現象に心惹かれ、6種類のガムテープ計70巻を使って、光が発生する原因を調べました。前例の無いテーマだったので、実験装置を設計してオーダーする段階から始める必要がありました。予算と時間が限られている中、メンバー内には焦りが生じ、雰囲気が悪くなるときもありました。そんな状況でも、私は発光現象の理論的側面を学んだ上で、既存の理論との比較検証を可能にする新たなデータ分析手法を提案し、やって見せることで明るい話題を増やしました。また、メンバーからの提案は必ず実行に移し、不満を抑制しました。これらが奏功して説得力のあるデータ解釈を得ることができ、40分間の発表を成功させました。この経験を経て、悩みながらもチームで一つのものを作り上げる力が付きました。(399文字)

8. 京都銀行で、どのようなことに挑戦し、どのような人へ成長していきたいですか？(400文字)

法人営業業務に挑戦し、お客様だけでなく貴行の行員の方からも「困ったときは柏原に相談しよう」と思っただけの人へ成長したいです。私は他行の法人営業インターンシップに参加して法人営業業務に興味を持ち、卒業研究で身につけたチームで企画を完成させる力や、チェスで身につけた論理的思考力が役立つと感じました。また、銀行は色んなソリューションを持っており、お客様の置かれている状況に合わせて、最適なソリューションを選ぶことが営業担当に求められているのだと学びました。そこで、私は銀行の内外の人から頼りにされるような人物が理想的だと考えました。なぜなら、お客様に頼りにされて相談に乗る中でお客様のニーズを把握できるからです。また、相談されることは自分の引き出しの多さを表すからです。お客様だけでなく、銀行内の他の法人営業担当の方からも相談される人物になることで、最終的に多くの人を支援できるようになりたいです。(399文字)